

平成 23 年度 第 2 回 備前市公共交通会議 議事概要

1. 日 時：平成 23 年 8 月 22 日(火) 10 時 00 分～11 時 30 分

2. 場 所：備前市役所 3 階 大会議室

3. 出席者：(敬称略)

(委 員) 西岡憲康、馬場鉄二、竹中史朗、宇野泰正、大本一栄、香西正巳、村合英二、宇治橋昭彦、藤澤健太郎、更谷暢久、大平國夫、三宅陽、寺見史朗、山本啓之、則武晴世

以上 15 名

(専門員) 古谷嘉章、稲家誠、保田邦昭、田中信彦

(事務局) 企画課、教育委員会職員 5 名

(説明員) 日生運輸(株)

欠席者：(敬称略)

(委 員) 井上邦允

傍聴人：6 人（うち報道 3 人）

4. 議 事

○出席者紹介

○協議事項

(1)副会長の選任

(2)備前片鉄バスの一部区間（周匝～柵原病院前）の廃止及びダイヤの改正について

(3)備前バス路線の一部ダイヤの改正について

○報告事項

(1)路線バス利用実態調査の結果について

(2)第 1 回公共交通会議における専門員からの意見対応について

○その他

・市営バス和意谷線と三国東西線について

・東備西播定住自立圏定住自立圏 圏域バス運行に関すること

6.【会議要旨】

◎協議事項

(1)副会長の選任

備前市公共交通会議設置要綱第4条の規定により委員の互選とし、自治会連絡協議会長の宇治橋昭彦氏が副会長として選任される。

(2) 備前片鉄バスの一部区間（周匝～柵原病院前）の廃止及びダイヤの改正について

《事務局からの説明》

- 「備前片鉄バス」は現在、片上～柵原病院間 約44Kmを平日5往復、土曜2往復で運行しております。今回運行を廃止する区間は周匝～柵原病院前間の約7Kmとなります。備前片鉄バスの運行路線の一部廃止及び運行ダイヤ変更に至った経緯を説明します。現在の運行については、片上鉄道沿線活性化対策協議会の構成市町である和気町、赤磐市、美咲町、備前市の2市2町で、年間30,000千円の補助金を交付し、その運行を維持しております。本年3月に美咲町が、平成23年10月よりバス運行助成事業から脱退する旨の申し出があり沿線協議会で脱退について承認されました。その後、美咲町の補助額4,600千円を差し引いた補助金額で現在の便数を確保して運行できるかどうかについて、運行事業者である日生運輸(株)と協議を重ね、その結果、運行台数の削減等経費を節減することにより、平日、1日5便の運行を確保し、運行することができるとの回答がございました。その後の片鉄沿線活性化協議会で協議した結果、美咲町を除く区間の片上～周匝間で運行を継続すること及び変更ダイヤについて承認されております。本日までに和気町、美咲町、赤磐市それぞれの市町で開催された地域公共交通会議で協議を調べており、本日の交通会議が最後となりますが、協議が調い次第、日生運輸(株)において運輸局へ変更認可の申請を行う予定です。なお、新運行区間及びダイヤについては平成23年10月1日からの予定であります。次ページに路線図を掲載しております、赤い線が片上～周匝間約35.5Km、青い線が片上～鶴飼谷温泉経由～周匝までの約36.5Kmの2系統となります。次ページが運行ダイヤです。黒字が現行ダイヤ、赤字が変更ダイヤです。主な変更点は、片鉄片上から周匝向けての便、片鉄片上駅発6:10～周匝着7:18分を新たに設け、片鉄片上発17:30発～周匝着18:36を廃止したことです。また土曜ダイヤについては、時刻は若干変更となっておりますが、現行通り1日2往復としております。その次のページが料金表です。周匝～柵原病院が廃止になることを除き、現行料金との変更はありません。なお、備前市内の乗降については、市内路線バスとの調整から一般200円の均一料金となっております。
- 次にあわせて、備前片鉄バス利用状況調査結果について報告いたします。平成23年7月7日～7月13日までの一週間の全便を日生運輸さんにおいて、6月6日～6月10日までの5日間の1部のダイヤについて備前、和気、赤磐の職員による調査を実施しております。1～2ページが日生運輸の実施した全便調査、3ページ以降が職員が実施した片上発17時30分と18:10の便の調査です。1ページ目をご覧ください。上りの片上発、柵原病院方面行の表です。1日5便の運行で一番上の行にそれぞれの出発時刻を示しています。一番左の列には調査日を表しています。各便ごとに、どこの市あるいは町から何人乗車したかという結果を記入しております。一番右の列には1日乗車人数の計を記入しており、7月7日で言えば、備前市は、網掛部分ですが、5便運行して8人乗車したという結果です。

平日 5 日間の合計欄の利用者数を見ていただきますと備前市は 42 人、和気町が 96 人、赤磐市が 1 人、美咲町が 0 人という結果です。分析しますと備前 8.4 人/日平均、1.7 人/便、和気 19.2 人/日平均、3.8 人/便という結果です

土曜便は 1 日 2 便ですが、1 番下の方 7 月 9 日のデータです。備前市で 4 人、和気町で 8 人、赤磐市で 0 人、美咲町で 0 人という結果です。

次のページが下り便です。5 日間の合計欄を見ていただきますと、美咲町が 12 人、赤磐市が 77 人、和気町が 55 人、備前市が 10 人という結果です。分析しますと、美咲町 2.4 人/日平均、0.48 人/便、赤磐市 15.4 人/日平均、3.1 人/便、和気町 11 人/日平均、2.2 人/便、備前市 2 人/日平均、0.4 人/便で、平日の上り下りで備前市の場合 10.4 人/日平均、2.1 人/便の利用ということになります。

その下が土曜便の下りです。美咲町が 0 人、赤磐市が 12 人、和気町が 7 人、備前市が 3 人という結果でした。以上で説明を終わります。

《質問・意見》

会長 わかりやすくいえば、美咲町の柵原病院から周匝までの間で利用者が非常に少ない、それに対しての負担金が大変負担になるということ。特にそれは備前高校が廃止となったのが一番大きな要因ではないかという気がいたします。その状況はわかるということで、いまのところこの案に関しましては構成市町としても了解という立場をとっています。したがってそのことにつきまして皆さんからご意見ご質問があればということなのでよろしくをお願いします。

委員 異議ありません。

会長 異議なしとのことであります。この案につきましては承認ということによろしいか。

委員 「よろしい」との声あり。

会長 それでは、備前片鉄バスについては原案のとおり協議が調いましたので、事務局の方で今後の手続きを進めてください。

次に協議(3)の備前バス路線の一部ダイヤ改正について事務局より説明願います

《事務局からの説明》

- 今回一部ダイヤ改正を行うのは、日生線の片鉄片上～福浦峠間の土曜休日便と、三石線の片鉄片上～佐那高下間の 2 路線で次ページに改正区間を示す路線図を添付しております。
- 日生線の改正理由としては、先ほどご協議いただきました、備前片鉄バスのダイヤ改正に伴う乗継ダイヤの調整です。「片鉄片上 8:15 発～福浦峠 8:42 着」を「片鉄片上 8:30 発～福浦峠 8:57 着」に、改正します。これは備前片鉄バスの片上着 8:28 に調整するため片上発を 15 分後にずらし、片上発を 8:30 分とするもの。又「片鉄片上 14:20 発～福浦峠 14:50 着」を「片鉄片上 14:25 発～福浦峠 14:55 着」に改正します。これは、備前片鉄バスの片上着 14:24 に調整するため片上発を 5 分後にずらし、片上発を 14:25 分とするものです。
- 次に三石線の改正ですが、改正理由としましては、通学路線ダイヤの調整です。
「片鉄片上 16:02 発～佐那高下 16:27 着」を「片鉄片上 16:07 発～佐那高下 16:32 着」に、
「佐那高下 16:27 発～片鉄片上 16:51 着」を「佐那高下 16:32 発～片鉄片上 16:56 着」に変更します。この路線は、主に片上小学校と伊里小学校の通学路線としてご利用いただいておりますが、片上小学校の生徒の終業時刻の関係から片鉄片上発 16:02 分を 16:07 分に 5 分ずらすこととし、その関係で、帰りの便の発着時刻も 5 分後にずれるようになります。

なお、学校間の調整は教育委員会を通じて行っております。また一般のお客様のご利用は1週間に1〜2名で、ほとんどが通学で利用される便となっています。運賃については現行のとおりで、系統区間一律 1乗車大人 200 円、小人 100 円。1日乗り放題が大人 500 円 小人 250 円。適用する期間は平成 23 年 10 月 1 日からとしております。以上で説明を終わります。よろしくお願いいたします。

会長 只今の説明に対しまして皆様方から質問、ご意見ございませんでしょうか。

委員 吉永町なんですが、あまり路線バスに乗る人も少ないと思うんですけども、電車の便との乗り換え時間が、何ぼもないときがあるんですよ。JR が駅に着いた時間とバスの発着時間に。バスが出たじぶん電車が着く場合もあるし、そういうときに、まあ事務局の方にちょっとお願いをいていたんですが、見直しがここでされていないようなんで、もう少し考えていただけたらと思うんですけども。

会長 具体的には何時何分というのはわかりますか。

委員 4 時なんぼに電車が着くやつと、4 時すぎに三国へ上がるバスがあるとおもう。5 分だったかな？あるんですよ。年がいったって、足が悪くて、すぐには出れない時があるし、そうしたらもうバスが出ると。タクシーで帰ったら、3,000 円、4,000 円かかるんです。そうなるともう一便遅い便で帰ろうかという気もするらしいですけども。そこをなんかいい方法はないかという気がしとんですけど。

会長 わかりますか事務局。

事務局 はい。以前委員よりお伺いして備前バスさんの方にもお伝えしております。いろんな路線のからみがございまして、大幅な改正を行う時でないと、調整が難しいというような話を伺っていますので、再度事業者と協議いたしまして、そのあたりは検討させていただきたいと思います。

委員 こういうことなんですけれども。運転手さんが、1 分か 2 分ぐらい待ってもらえるような状況も考えていただきたいんです。定刻に発車しないといけないという気持ちもあると思うんです。だけど、吉永中学校の子供がおるし、その時間に子供が帰るということで、すぐに折り返して乗せて帰るといことで、いろいろ問題があると思いますけれども、できれば配慮していただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

会長 汽車とのからみでは、あまり遅れるといったことは少ないんじゃないかなと思うんですけどね。でもなんらかの理由で遅れるという場合もあるでしょうから、遅れて間に合うというのは、私はいいと思うんですがね。定刻で行ったために乗れなかったというのは、これは大変。次がそう簡単に来ないですからね。そういう意味ではおっしゃられる通りだと思います。そうした点また事務局のほうから、そう何回も会議ができないわけなんですから、前に聞いておられたんならですねその点についてもやっぱり配慮して・・・、かといって毎回毎回遅れるかどうかとうことはわからないですからね。難しいですな。

委員 お金がかかるから、遅れたら、娘さんと呼んでいる。年金暮らしですから。

会長 短距離ならいいが、三国は遠いですからね、そのあたり是非配慮してあげていただきたいと思います。

会長 ほかにございませんか。

ないようでしたら、備前バス路線の一部ダイヤ改正については承認ということによろしいか。(拍手あり) それでは承認ということにさせていただきたいと思います。

それでは先ほどの議案と同様、事務局において所要の手続きを進めてください。

次に、5 番目の報告事項に入ります。路線バス利用実態調査の結果について、事務局より報告願います。

《事務局からの説明》

- 備前市内路線バス利用実態調査の結果について報告いたします。
- ・調査期間：平成 23 年 7 月 7 日～7 月 13 日なお市営バス路線の和意谷線は 7 月 5 日～7 月 22 日の間。
 - ・調査路線：市の補助路線である備前バス路線である三石線、八塔寺線、吉永線、東鶴山線、福石線、日生線と市営バス路線の三国東西線、和意谷線。
 - ・調査方法：備前バス職員及び市役所職員による調査
- | | | | | |
|--|------|-------------|--------|------------------------|
| 三石線 | (平日) | 115.6 人/日平均 | 19 便/日 | 0 人便=4.0 便/日平均 (21.1%) |
| 八塔寺線 | (平日) | 43.4 人/日平均 | 10 便/日 | 0 人便=1.0 便/日平均 (10.0%) |
| 吉永線 | (平日) | 99.6 人/日平均 | 7 便/日 | 0 人便=0.2 便/日平均 (2.9%) |
| 東鶴山線 | (平日) | 54.0 人/日平均 | 12 便/日 | 0 人便=1.2 便/日平均 (10.0%) |
| 福石線 | (平日) | 54.2 人/日平均 | 6 便/日 | 0 人便=0.8 便/日平均 (13.3%) |
| 日生線 | (平日) | 402.4 人/日平均 | 29 便/日 | 0 人便=1.0 便/日平均 (3.4%) |
| 全路線 | (平日) | 769.2 人/日平均 | 83 便/日 | 0 人便=8.2 便/日平均 (9.9%) |
| 全路線(平日平均) 小学生 347.6 人 中学生 34.6 人 一般 156.0 人 高齢者 231.0 人
計 769.2 人 | | | | |
- という結果になりました。今回の調査結果による年間利用者推計（調査時点でのダイヤ運行で想定）についてですが H23 年の推計値は 182,479 人と想定され、小中学生が、76,506 人、一般、高齢者が 105,973 人で昨年に比べ 13,228 人程度減少（△6.8%）すると思われます。また平成 19 年の調査と比較しても 220,275 人ですから、だんだん減ってきているということがわかります。昨年から減少した主な原因は通学利用が 12,398 人減ったことによるものです。
- 次に市営バスの調査について報告させていただきます。
- 三国東西線は吉永の北部を東西に走る路線で、主に通学バスとして利用されております。5 日間の合計利用者は 64 人で日平均は 12.8 人そのうち 56 人、日平均 7 人が通学利用でその割合は 87.5%となっています。5 日間の運行便数 65 便のうち 39 便が 0 人便でその割合は 60%でした。
- 和意谷線は吉永病院から和意谷を経て飯掛下まで火曜と金曜で 1 日 4 便の運行としております。5 日間の利用は 12 名で、日平均 2.4 人。通学利用はありません。5 日間の運行便数 20 便のうち 11 便が 0 人便でその割合は 55%でした。
- 三国東西線の土曜日の利用状況ですが、7 月の土曜日 5 日間を調査して合計の利用者が 7 名で日平均 1.4 人。5 日間の運行便数 25 便のうち 20 便が 0 人便でその割合は 80%でした。市営バスにつきましても利用者は昨年と比較して減少しております。
- 次に期間中、市職員による聞き取り調査を実施しておりますので報告いたします。聞き取り延べ人数 452 人で小中学生のスクール利用者を除く。重複者の回答もあります。すべての質問に対してご回答いただけておりませんので、それは未回答に分類しております。
- ・利用者性別： 男 31% 女 69%
 - ・利用者年齢：調査員の見た目で判断しております。年齢 60 代以上が 77%、70 代以上が 56%で、高齢者の利用が 8 割近い。
 - ・利用頻度：週 1 回～週 7 回に分類（初めて 1%、週 1 回 12%、週 2 回 17%、週 3 回 16%、週 4 回 8%、週 5 回 14%、週 6 回 1%、週 7 回 5%、時々 18%、未回答 8%）月 1 回とかその他は時々分類した。
 - ・利用目的：重複回答あり。たとえば通院と買物など。それぞれ 1 カウントしている。

通院 39%、買物 28%が多い合計 67%。通勤 12%は障害をもつ方の通所に関してもここに分類。通学の高校生 2%は主に東鶴山線の長船駅への通学目的の利用です。

その他 15%は、友人宅、親戚のところなど。

- ・いつもこの便ですか：はい 58% いいえ 12% 未回答 30% 回答得られた方の約 8 割がいつもこの便を利用しているということです。
- ・帰りもバスですか：はい 65%、いいえ 4% 回答を得られた方の 9 割が帰りもバスを使うということです。
- ・発着時刻はいいですか：はい 56%、いいえ 6% 回答を得られた方のほぼ 9 割が OK とのことです。
- ・運賃 200 円について：安い 11%、普通 58%、高い 11%未回答 20% これは、約 7 割がいいのではないかとのこと。
- ・運賃 300 円になると：安い 5%、普通 19%、高い 50%、未回答 26%。これは 300 円にするということではなく、たとえば今の料金よりも高くなるとどうですかということで質問している。
- ・日常交通手段：バス 60%、他の人の車 10%、タクシー6%、JR5%、自分で運転 2%、自転車 2%、未回答 15% 重複回答があります。

以上、路線バス利用実態調査の結果の報告をさせていただきました。

会長 何かご意見がございますか。

私が、感じたことをちょっと申し上げますと、三国地区が確かにいろんな問題点を含んでいるようです。東西線、和意谷線の 0 人、乗車なしというのが 60%あるいは 80%もありますと、空で走っているわけですから、これはなんとかしないといけないという風に思うんですが。こうした点につきましては、日生運輸さんの方の運転手のやりくりだとかありますから、軽々に乗車人員の数だけみまして、ああしろ、こうしろというわけにはいかないと思います。と同時に三国地区の委員さんの実態をよく知っておられる方のご意見も聞きながら何らかの改正をしていかないと、まさに空気を運んでいるようなことになりますと、運転手の志気もあがらない、影響してくるんじゃないかなという気がいたします。かといってなかなか名案がない。総論としてだんだん乗車人員減ってきている。それは少子化で小中学生が減ってきているというのが一つの大きな原因ではないかと思えます。これはうちだけではなくて、どこの市町村もみんな同じような、しかも似たような共通の悩みを抱えているんじゃないかなという風に思います。そうした状況をこの資料を持って帰っていただきまして、もう少し詳細に見ていただければ、そして私どもも、詳細に検討していきたいなという風に考えております。ただこの会議は短期間に何回も開くということが非常に難しいものですから、開いたときにはじっくりと意見を出していただきながら今後協議をしていくうえでの参考にしていきたいなと考えております。

会長 そのほか何かご意見はございませんか。

委員 場違いで極端なことを申し上げるんですが、市の運行している市バスなんですが、もし料金がいらないということになるとたくさん乗られるんですか。そういう調査はされてませんか。たくさんのおついでいただけるのであれば。まあ遊びで乗られるのもこまるんですけど。また先ほど言われてました JR との連絡、利便性等とかもあるんですが、もしただだったら乗る人が増えるんじゃないか。これでは乗る人が決まってて、じり貧じゃないかと思ひまして。極端なこと申しますけど。想像で。

会長 これは、いろいろ意見の分かれるところです。一つの例ですが、救急車は今のところ無料です。ですからタクシー代わりに使っているとも言われていますが、あれを有料という形にすれば、もう少し減ると思います。だいたい減るかもしれません。わたしもいろいろそのことは考えました。もっと安くするか、無料にすとか。バス路線が万遍に公平に各地域に張り巡らされていればいいんです。そうじゃないところがあるんです。そうしますと、バス路線のないところの皆さんの税金もその無料にしたところにつぎ込まれることになりますので、非常に不公平、格差がもっと広がることになります。公共交通の料金はどこの国でも安いんです基本的には。いろんな意味があります。弱者救済という意味もありましょうし、あるいは利用してもらって病気を治してもらう、あるいは友達のところへ行行って元気、健康を培ってもらう、いろんな意味があるでしょう。私がいろんな国へ行きましたが非常に安いです。ほとんど無料というような国もあります。しかし、ただより高いものはないといまして、ただにしますと、いろんな弊害も出てきます。だからそういう意味で今、路線バスは200円という形で合意していただいているという状況ですが、今後、今おっしゃられたような点も踏まえまして、できるだけ便宜をはかっていきたいなど、同時に市民の皆さんの公平感というのも引き続き継続しながらというようなことになってくと思います。いま言われたテーマは大きなテーマなんです。ただにしてもはたして乗るんか乗らないのか、ただにしても乗らんのかじゃないかという可能性もあります確かに。

委員 私が、危惧したのは、ただにしても乗られる人は増えないんじゃないのかなという思いがありましたんで、その辺のお考えをお伺いしました。わかりました。その線だけただにしたら大変なことになりますんで。

事務局 想像ではなかなか申し上げられませんが、ただにしても、現在の形態にしても、どうしても必要な方が利用していらっしゃるんで、人数的なものは、変わらないと思います。地域の方にお聞きしますと、値上げしてでもとにかく運行はしてほしいという声がございしますので、その辺はまた市長とも十分考えながら検討していかなければならない課題ではないかなと思います。

委員 高齢者等に対して、運転免許制度も高齢になりましたらできるだけ返上という形で、かなりPRされているようです。そういう形でどんどん自分で運転することが無くなりますと、公共的なものを利用していかないといけなくなりますんで、この表を見ましてもやっぱり高齢者の利用する割合は非常に高いもんですから、やはり軽々と採算が合わないからとか、費用がたくさんかかるとかいう中で検討されては困ると思いますので、あくまでそういう人の皆さん、弱者の意見、利用を考えていただきながらご検討いただきたいなと思います。そういう意味で老人クラブから委員に出されているんじゃないかと思いますので、よろしくお願いします。

事務局 その点につきましては、市長の政策でもありますので、今後市長とも十分協議しながら、検討していきたいと思っております。

委員 さきほど、和意谷線の利用状況の話がありましたが、ちょっとやめるという話も聞いたんですけど、いつごろやめられるのか、やめても困るし、乗ってないのに走らせるのもどうかという風な話を今市長言われましたが、子供が学校へ行きだしたら再開してくれるのか。和意谷に2人、牛中に1人か2人でできるとおもうんですが。幼稚園はおそらく親が送っていくんじゃないかと思うんですが、小学校に上がったならバスを運行してくれるのか、そうでなければどういう方法をとっていただけるのかということをお伺いしたいのですが。

事務局 その他でご説明させていただく予定でしたが合わせて説明いたします。

現在検討を進めております市営バス和意谷線と三国東西線についてであります、実態調査でもわかりますように、利用は非常に低迷しております。

和意谷線については、平成 22 年度から週 2 日、1 日 2 往復に減便して運行しておりますが、利用される利用者が限られておまして毎回乗車されるという状況にありません。三国東西線についても主として通学バスで運行、一般のお客様が混乗するかたちの運行ですが、これも利用は極端に少ない状況です。現在、和意谷線の一部区間を三国東西線に組み込む形で統合し、その区間を予約で運行する形態をとっていきたいと考えております。本年中に交通会議を開催して、その折に協議いただければと考えております。今は和意谷線については学生がいない状況で、スクールとしての運行はおりませんが、小学校に行く様になったらどうするかという点については、その時点、前の年などに教育委員会と協議しながら通学方法について検討していくことになるかと思えます。

委員 これ全部を今年中にやめるということはないのですか。

事務局 和意谷線については、次回の公共交通会議で協議を調べていただいて、やはり周知期間も必要ですので、早くて来年の 4 月から新運行体系でというような形で、事務レベルでの調整をさせていただいております。

会長 子供さんがどうなるかによって変わってくる。東北の大震災で吉永に 2 世帯、そのうち 1 世帯が三国に避難してきている。そういうことによってもでてくる。それをほっとくというわけにいかない。やっぱりそうしたことによって又路線復活という形になるか、その復活方法をどういう風にするかという話をしていただいた。

専門員 さきほど廃止というか休止といいますか、ということと、また復活できるのかというようなことでご心配されてるということがあったと思います。当然民間の路線バス等であれば、やめられたところを再復活するというのは力としてなかなか難しいと思います。今回お気にされているところは、主体的に市が運行されているところですので、手続きを踏めばできるということは一言申し上げておきます。

会長 ほかにありますか

事務局 前回の公共交通会議、書面決議で決議していただいた日生線のマルナカ穂浪店へのバスの乗り入れに係る専門委員の意見への対応について報告させていただきます。備前警察署の専門員の方から、マルナカ穂浪店へバス乗り入れに際し、駐車場内の安全運行に関する意見をいただいております。これにつきましては、マルナカ穂浪店さん、日生運輸さんの方で対応していただき、バス通行に係る路面標示やバス停車スペースの確保、バス利用者の安全確保のためのバリカーの設置、交通事故防止のための注意看板の設置、バス運転手への現地での安全指導などを実施していただいております。現在のところ問題なく運行しており、利用者の方も 1 便あたり 5 名程度、多い時は 8 名程度のご利用があると聞いております。

会長 ということでございます。よろしゅうございますか

その他、皆様方より、ご意見、ご質問があればよろしくお願いします。

事務局 その他で、もう 1 点、東備西播定住自立圏における圏域バス運行についてでございますが、昨年度の交通会議でも説明させていただきましたが現在、備前市、赤穂市、上郡町で定住自立圏を推進しており、「圏域の共生ビジョン」に圏域バス運行に関する調査、検証を行うこととしております。今後年末までに 3 市町合同の圏域バス交通に係る検討会議を設置して協議をいただくように考えております。その折には、本市の公共交通会議の構成員の皆様あるいは構成員の皆様の所属する団体等から関係者を選ばせていただくような形で圏域バス検討会議のメンバーをお願いしたいと考えております。その折には、

ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。またその会議での検討結果については、本公共交通会議にご報告させていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

会長 ただいま説明がありましたように、県境をまたがった各市町の公共交通会議等の調整を図るような会議を開く必要がある。そういった中でみなさんの中から会議の委員として出ていただいて、調整していただくということになっていくんじゃないかなと思います。これはまた、皆さん方に諮ってまいりたいと思います。

ほかにご意見ご質問はございませんか。

無いようでしたら以上をもちまして本日の公共交通会議を終了いたします。ご協力ありがとうございました。

了